

第1回中国地方サステナブルファイナンス協議会 議事要旨

【日 時】 令和4年3月2日(水)10時00分～11時30分（オンライン会議）

【出席機関】 ひろぎんホールディングス、山口フィナンシャルグループ、鳥取銀行、山陰合同銀行、中国銀行、島根銀行、トマト銀行、西京銀行、日本政策金融公庫、日本政策投資銀行中国支店、商工中金広島支店、金融庁、中国経済産業局、中国四国地方環境事務所、中国経済連合会、日本銀行広島支店、中国財務局（事務局）

【議事内容】

1. 開会にあたり、中国財務局 CSO 柴田局長、中国経済産業局青木局長及び中国四国地方環境事務所上田所長より挨拶。
2. 「中国地方サステナブルファイナンス協議会設置要綱（案）」について、事務局より説明。一同承認。
3. 最新の内外政策動向や中国地方の現状について、出席機関（括弧内）より説明。
 - （1）「中国地域カーボンニュートラル推進協議会について」（中国経済連合会）
 - （2）「中国地方のカーボンニュートラルに係る共同調査のご紹介」（日本政策投資銀行中国支店）
 - （3）「サステナブルファイナンスの取組みについて」（金融庁）
 - （4）「地球温暖化対策の推進に関する法律」の一部改正による
 - ①「財政投融資を活用した新たな出資制度」（中国財務局）
 - ②「地方公共団体に対する財政上の措置」等（中国四国地方環境事務所）
4. 意見交換等

主な意見・課題認識は以下のとおりであり、中国地方のカーボンニュートラル（以下、「CN」）実現に向けて、関係者間で機運を拡大することの重要性を確認した。

 - 再生可能エネルギーなどの地域資源を最大限に活用して、地域の課題解決や地方創生につなげていくことが重要。自治体からも強い期待が寄せられている。
 - CNに向けた事業者支援を行うにあたっては、大企業のみならず、中小企業の取組みも含めて促進していくことが必要。他方、中小企業からは「CNについては、何から手を付けてよいか分からない」といった声が多数聞こえており、知見向上等に向けて、中小企業への効果的な周知・啓蒙が課題。
 - 企業に対しては、金融機関がファイナンスの提供を含め、企画段階から伴走的にサポートしていくことが重要であり、金融機関の責務と認識。
 - 国の施策を自治体等と連携・協力しながら、如何に企業に波及させていか検討していきたい。

（以上）